

監督・脚本 八木順一郎



1988 年生まれ 岐阜県出身。

2004 年(平成16年)下有知中学校卒業←追記

幼少期に観た怪獣映画の影響で、映画監督を志すようになる。

中学2年で、家庭用ハンディカムを用い、初めて映画を制作。

以降、高校卒業までに計 13 本の作品を制作する。

その後、日本大学藝術学部映画学科監督コースに進学。

大学の卒業制作で監督した映画を機に、現在の勤務先 株式会社タイタンに入社。

以降、爆笑問題、橋下徹、辻仁成、太田光代などのマネージャーを務める。

2016 年には、マネージャーとしてテレビ朝日「お願い!ランキング ゴジラファン No.1 決定戦!」に出場。

視聴者投票でゴジラファン1位の座を獲得した。

同じ頃、社内での映像制作事業に着手。

日本エレキテル連合、脳みそ夫、まんじゅう大帝国など、若手芸人のライブ映像や、DVD 収録用のショートフィルムを制作し始める。

2016 年以降は、NHK「みんなの 2020! バンバンジャパーン!」TBS「一番だけが知っている!」テレビ東京「新・美の巨人たち」など、社外のテレビ番組の制作ディレクターとしての活動をスタートさせる。

2018 年「第3回 MI-CAN 未完成映画予告編大賞」で、監督作「実りゆく長野」が堤幸彦賞を受賞、その後本編の制作が決定した。

本作が、念願の初監督作品となる。